

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月21日		記入者		連絡先 5614
部 名	保健所	課 名	地域保健課	課長名	
事務事業名	保健所・保健センター職場研修				
予算上の事務事業名	保健所・保健センター職場研修				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12110		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第1節 地域保健対策の充実				事業開始年度
施策名	第1施策 総合的な地域保健医療体制の確立				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
地方公務員法39条・地域保健法・相模原市職員研修規程					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
地域保健事業の最新の動向を把握するとともに、保健所及び保健センターにおける専門職等の資質の向上を図り、地域保健対策の推進に資する。				保健所職員	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
職場基本研修 1回 人数24人 職場専門研修 13回 人数463人 職場派遣研修 116回 人数155人 視察派遣研修 1回 人数2人 事業の効果を高めるために職場専門研修の中で、地域保健関係専門派遣研修伝達研修会 (1回、人数25人)、階層別研修 (2回、人数28人) 実施した。 平成17年度決算額 1,919千円 報償費 244千円 旅費 1,214千円 需用費 138千円 負担金 323千円 国庫補助金 931千円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	1,884	1,893	1,919	2,339	2,580
一般財源	970	968	988	2,339	2,580
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	914	925	931	0	0
人件費の合計	801	807	807	807	807
事業コスト合計	2,685	2,700	2,726	3,146	3,387
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	専門派遣研修			対象名称 と単位	受講者 (人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	1,616	1,601	1,600	1,996	2,176
対象数	223	190	155	117	120
単位あたり経費(円)	7,247	8,426	10,323	17,060	18,133
前年度比		1.16	1.23	1.65	1.06

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	専門派遣研修の実施回数	指標式と指標の説明	指標式：専門派遣研修の実施回数。目標は専門派遣研修の実施予定回数。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	128.0	116.0	116.0		
目標	103.0	98.0	91.0	92.0	100.0
目標達成度（%）	124.3	118.4	127.5		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	研修の業務への反映率	指標式と指標の説明	指標式：研修終了時、業務への反映を受講者の自己採点3段階（2,1,0）で評価した点数の合計/人数÷2×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	不明	90.1	87.7		
目標	不明	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#VALUE!	90.1	87.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実	地域の特性に即した地域保健対策を効果的に推進し、地域における健康危機管理能力を高めるためには、専門技術職員の資質の向上は欠かせないものであり、業務遂行上最新の動向を把握することが必須であるため、今後も、継続実施が不可欠である。		
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
研修を受ける時期・内容等、より吟味して内容の濃い事業実施を行う。 事業の効果を高めるために、保健所研修計画の改訂や地域保健関係専門派遣研修伝達研修会の開催を実施したが、今後も継続し、更なる向上を図っていく。			少人数職種の特長性を高めるための効果的な研修方法や、職場内で各専門職がスキルを高める方法や、専門職が配置される部同士の連携による実施等については、検討の余地がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			